



最近は飼葉食いも安定。馬房では大人しいカリアちゃんです

# 小島友実の あの馬の **STORY**



カリティード

取材をしてみると、厩舎力は本当に大切だなと思う事がありますが今回、そんな厩舎力での勝利を感じさせてくれたのが、カリタティームです。

カリアーティードが所属するのは開業3年目の武井亮厩舎。その厩舎力がどう勝利に繋がっていいのか。その道程を

「アーティ」は昨年12月5日、中山のダート戦で3着でした。結果は3着でした。「アーティ」が良く好位からレースを進めたが、最後は中山の坂が坂下をよつたようにならかに走りました。走りを見せてくれましたし、能力がある馬だと感じました」

熱は下がり調整も出来た事から、2戦目は1月5日の中日ダービーで200メートルへ向かいました。

番手から競馬をしましたが、砂を被るやや不利を失ってしおり着。結果的に熱発の影響もあつたし思つてます」

放牧を抜き黒体も回復しただけ。ティーチの3戦目は、連鎖逃げで前の中止から芝でも大丈夫」と判断して小倉競馬場の芝コースを選択。レースでは一番手の力でペースを保つが、結果は玉のむくじだった。

そして確実に勝つために、再びダートに戻した4月30日の新潟競馬場で初勝利の瞬間がやってきます。

「好スタート」で4コマ一か月仕掛け  
でしき、前にした2頭を追いかける形。  
はいが前を追いかけています。おまけ

「試験はいつでありますか？」

「ああ、結婚が叶わなかったからさうやつ。」「いや、『色々試してみた』事が圓

話はカリ亞テイーーの1歳募集時、武井師にお話を伺つた時に遡つまわ。カリアテイーーの母、ワレーフィティアリヤンはカリアテイーーがトド「一か八九〇」の頭の産駒がいましたが当時、中央で勝ち上がりになつたのは一頭だけ。その事が成になつて武井師に聞いた所、こんな答へが返つたのです。

「確かに産駒の結果があから出いでせんが、兄弟達はあと一歩で勝ち上がりました。厩舎のやり方にありますか？」

そして実際、カリアテイーーを勝たせたために、武井師はこんな工夫を取り入れてきました。

「①戦田のレースで砂を被りやんばかり無くしたので、②戦田の前から調教で馬の後ろにひいて砂を被せたり、格もねした。カリアテイーーもこの方向課題をやつこつこつられました」

③戦田に芝を試したのが早めに試して、勝つための条件を見極めていく。こう厩舎の戦略だつたのです。初

なるほど、気持ちは高ぶる時があるが、あります。そんな気性がレースに行つて、良い方に出てこられるのでしょうかね」

「口やさかのば」「カツアリヤ」と呼はれておつゝ可愛がられたからで、何様子が伝わつてもあつたよ。

その後、1月29日、東京のダート1400メートル走。スタートして滑つてしまふ後方からのレースとなり、15着に負けてしまつましたが、武井師に今後を命じて、この馬の可能性を伺つました。

「東京でのレースを見ゆう、やはつ坂があるコースより平坦の方が良いのかもしねませんね。この後は放牧して状態を見て次走を考えた方がよし、ずらり100万クラスは勝てる馬ですよ、その後の伸びもあらねと思ひます。脚元も問題ないのですが、レース数も使えてるタイプです。いつも一生懸命走ってくれまわかりぬ。応援して下さる」

武井厩舎の厩舎力で、カリナティードが今後どんな風に成長していくのか、注目していただきたいですね。

勝利はまるで、厩舎力、じよめの勝利だつた事がわかつまゆね。

初勝利の後に厩舎を訪ね、馬房にて、  
るカラマトイードに会つておつた。抱  
当するのなべトウの厩務員のヨロ酔川  
殿だ。普段の様子を伺つた。

「馬房では大人しくて、でも、パド  
ックではオーバー板の上では静かだな」と  
お宿との方へ行くトトロが高くて  
ぬるなど、気持ちが高ぶる時があつた  
す。なんな競走だレースに行ひて、敗つ  
方に立つてのじよつたね」

「口も々かのせ、カツカヤ」と  
呼ばれており、可愛がりやうござつた  
様子が伝わつてしまつた。

その後5月29日、東京のダート14  
00メートルに出走。スタートで頭につけて  
後方からのレースになつて、着に負ひて  
しまつあしたが、武井師に今後を命め  
ていの馬の可能性を伺つました。

「東京でのレースを見ゆし、やはつ  
坂があつた」一歩より平坦の方が長い  
のかもされませんね。この後は放牧し  
て状態を見て次走を考えたいです。ほ  
ぼ500万カラスは勝てぬ馬ですか。  
その後の伸びもしもあると思つます。  
脚元も問題なつて、レース数も使え  
るタイプです。つゆ一生懸命走つて  
くれますからね。応援して下さる」

武井厩舎の厩舎力で、カラマトイー  
ドが今後じよな風に成長をしていくの

グリーンチャンネル「トラックマンTV」(毎週金曜19:00~20:30)、ラジオNIKKI「中央競馬実況中継」ほか競馬ファンには馴染みの顔。平日は地方競馬、週末は中央競馬、そしてプライベートでも競馬三昧の日々を送る。本業のアナウンスのほかにも、競馬ブックのコラム「小島友実の好奇心keiba それいけ現場」の連載など活躍の場を広げている。